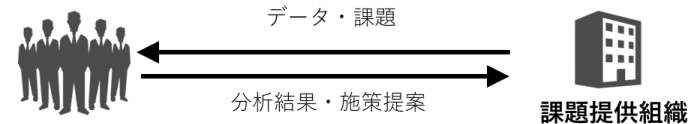


名古屋大学における産学連携によるデータ課題PBL 「実世界データ演習」：実践DX人材育成プログラムで実施

- ・ **実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム**
(2013～)での産学連携教育の経験に基づき実施



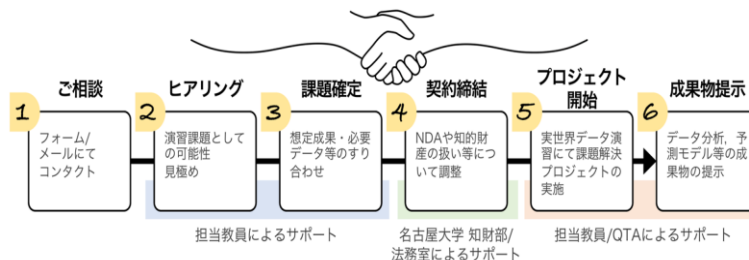
- ・ **実社会課題を対象としたプロジェクト型演習**：学生と社会人で構成されたチームが、企業や自治体から提供された「実データ」を用いて、分析・仮説立案・提案までを行うPBL。学生（大学院生）と社会人が混成チームを組むことで、**課題解決に向けた異分野人材との協業マインドを醸成**。

- ・ **サポート体制**：
アドバイザ教員（課題の専門家）
認定TA（Qualifying TA:博士後期）

進行	0ヶ月目	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目
イベント	課題説明会	キックオフ： 課題・データの 詳細説明	中間報告会： 初期分析や方向性の 報告とフィードバック	課題報告会リハ： 内容・プレゼンの ブラッシュアップ	・ 課題報告会 ・ 最終報告書提出
グループ活動	グループ組成	ミーティング（週1程度；対面 and/or オンライン）、分担作業			

演習スケジュール

- ・ **グループ組成**：1 課題当たり 2, 3 グループ；1 グループ 4～6 名
- ・ **演習実施手順**

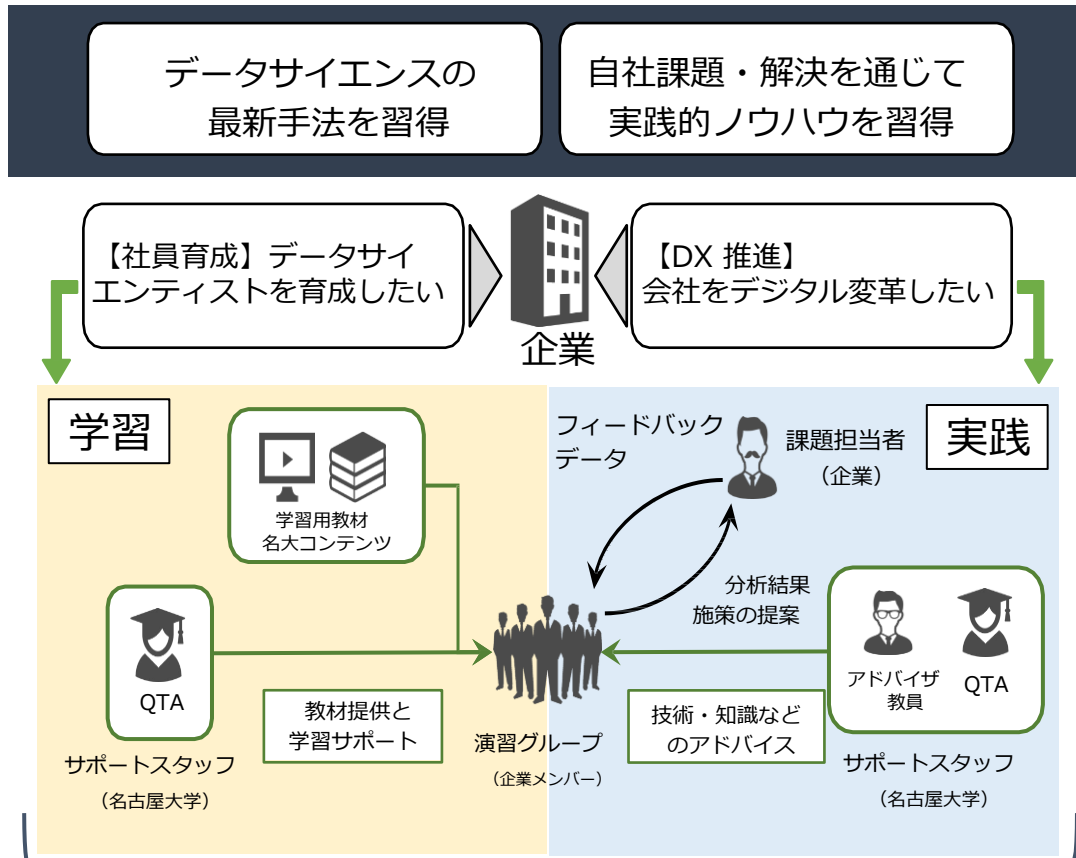


- ・ **課題提供組織との契約**（名大と提供組織間）：
契約に基づき演習を遂行するため受講生には下
記書類の提出を義務化
- 全受講生：同意・誓約書(NDA)
- 社会人受講生：成果取扱についての同意書
(演習からのIP放棄;所属企業から)

- ・ **課題提供実績：44件**

青山製作所、浅井農園、アドビックス、壱番屋、岡谷鋼機、桑名市、スガキコシステムズ、セイノー情報サービス、デンソー、トラスコ中山、豊田自動織機、NiterraAQUA、日東エフシー、林テレンプ、三井住友銀行、ヤマハ発動機 他

名古屋大学における産学連携によるデータ課題PBL 「カスタマイズコース」：特定企業向け社員教育サービス



カスタマイズコースの特徴

実績のある講義群	自社で完結した演習
これまでに蓄積してきたプログラムの内容を学習できます。	社内での実施、課題・データ・知見の漏出の心配がありません。
サポートスタッフ	履修証明プログラム
教員や認定 TA (QTA) から演習のサポート・助言を得られます。	履修証明書を発行、リスクリングの記録として活用できます。

料金体系

- 受講料(一人あたり): 50万円
- 基本カスタマイズ代 :250万円～

オプション

- 期間の延長 : 100万円 (2か月)
※3か月以上は応相談
- チームの追加:100万円/1チーム

2024年度第2期より提供開始
(初回：名古屋鉄道様向けに実施)

